

公立大学法人宮崎公立大学
平成25年度業務実績に関する評価結果

平成26年8月

宮崎市公立大学法人評価委員会

目次

1	事業年度ごとの業務実績の評価方法	…	1
2	大項目別評価	…	2
1	第2 教育研究等の質の向上	…	2
2	第3 地域貢献、国際化	…	4
3	第4 業務運営の改善及び効率化	…	5
4	第5 財務内容の改善	…	6
5	第6 自己点検・評価及びその情報公開・提供	…	7
6	第7 その他業務運営	…	8
3	平成25年度事業年度評価に係る項目別評価結果総括表	…	9
4	全体評価	…	10

1 事業年度ごとの業務実績の評価方法

「項目別評価（小項目別と大項目別あり）」及び「全体評価」により構成する。宮崎市公立大学法人評価委員会（以下「評価委員会」）は、公立大学法人（以下「公立大」）の作成した実績報告書をもとに、公立大の意見を聴取しながら評価を行う。

(1) 小項目別評価（基礎資料）

年度計画の小項目記載事項ごとに、事業の進捗状況・実績について以下の4段階により評価を行う。公立大による自己評価と評価委員会の評価が異なる場合は、その理由等を記載する。

また、特記事項等についても記載する。

Ⅳ	年度計画を上回って実施している
Ⅲ	年度計画を順調に実施している
Ⅱ	年度計画を十分には実施できていない
Ⅰ	年度計画を実施していない

(2) 大項目別評価

(1)の結果を基礎とし、年度計画の大項目（*）ごとに、以下の5段階により、その進捗状況・実績について評価を行う。

なお、特筆すべき点や遅れている点についてコメントを付す。

S	(秀)	特筆すべき進行状況にある（特に認める場合）
A	(優)	計画どおり（すべてⅢ～Ⅳ）
B	(良)	おおむね計画どおり（Ⅲ～Ⅳが9割以上）
C	(可)	やや遅れている（Ⅲ～Ⅳが9割未満）
D	(不可)	重大な改善事項がある（特に認める場合）

*大項目

教育研究等の質の向上／地域貢献、国際化／業務運営の改善及び効率化
／財務内容の改善／自己点検・評価及びその情報公開・提供
／その他業務運営

(3) 全体評価

評価委員会において、「項目別評価」の結果を踏まえ、公立大の業務全体の実績評価について、「記述式」により、年度計画の取り組みを総括する。

また、地域の高等教育機関として更に発展するために、大学の特色ある取り組みやさまざまな工夫について積極的に評価し、広く公表する。

なお、必要に応じて組織や業務の課題や改善点等も記述する。

2 大項目別評価

第2 教育研究等の質の向上

(1) 評価結果及びその判断理由

ア 評価結果

A (優) 計画どおり

イ 判断理由

小項目別の評価を集計した結果、小項目数 50 項目に対し、その全てにおいて「年度計画を上回って実施している (IV評価)」又は、「年度計画を順調に実施している (III評価)」と評価したことから、A評価 (計画どおり) とする。

[参考] 小項目別評価の集計結果 (No.1~50)

小項目数	評価結果			
	IV	III	II	I
50	7	43	0	0

(2) 評価委員会の意見等

ア 特筆すべき点

【No. 1 : 外国語・ICTの能力を伸ばすため、学習環境の充実を図る】

- ・ICTの基礎的運用能力の修得、それを活用してのプレゼン等の必修科目の設置は、やや遅い印象も受けるが、これからの時代を担う人材には必須のスキルであるので前向きな取組として評価したい。

【No. 29 : クラス担任制度を導入し、学生相談体制の充実を図る】

- ・クラス担任制については、日常的に学生の状況を把握し、学生とのより緊密な関係・相談体制等を確立する上でも前向きに検討していただきたい。

No.33 の退学率減少の一方策としても有効ではないかと思う。

【No. 31 : 発達障がいをはじめとした障がいのある学生の支援のあり方】

- ・高等学校段階 (普通科高校も同様) において、発達障がいのある生徒は、学習面だけでなく、生活面や対人関係面などに多くの困難さを複雑に抱えているケースも見受けられる。

発達障がい支援については、他大学に先駆けても積極的に導入してほしい。

【No. 49 : 外部への情報公表】

- ・本学ホームページの「教職支援室便り」を拝見したが、内容の充実感と毎月発行に感心した。ただ、ホームページの「お知らせ」→「教職」から入っていただけるようにしてはどうか。

イ 遅れている点

【No. 15：既存の入試体制及びその内容見直しを行う】

- ・大学としての特性を出す必要があるのではないか。

【No. 18：推薦入試枠に関わる全般的な見直し】

- ・見直しが進んでいないと見た。

ウ その他の意見等

【No. 6：シラバスの充実】

- ・シラバスの充実を図ったとあるが、具体的にはどのようなものか事例を示してほしい。

【No. 10：教員相互の授業参観の充実、表彰制度の検討】

- ・表彰制度を実施しないこととしたことに賛成である。
- ・今後の教員相互の授業改善に役立つ資料とは、具体的にどのような資料か部分的でよいので具体的例示をお願いしたい。

【No. 11：教員相互の授業参観の充実、表彰制度の検討】

- ・第一部は講演実施、第二部はグループワークの実施であるが、自己評価が4（年度計画を上回っている部分）とした具体的な部分・根拠は何か示してほしい。

【No. 20：県内の高等学校等とのより一層の連携強化に努める】

- ・高校との積極的な情報交換は重要だと思う。

第3 地域貢献、国際化

(1) 評価結果及びその判断理由

ア 評価結果

B (良) おおむね計画どおり

イ 判断理由

小項目別の評価を集計した結果、小項目数 15 項目に対し、「年度計画を上回って実施している (Ⅳ評価)」又は「年度計画を順調に実施している (Ⅲ評価)」と評価したものが 9 割以上となったことから、B 評価 (おおむね計画どおり) とする。

[参考] 小項目別評価の集計結果 (No.51～65)

小項目数	評価結果			
	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ
15	2	12	1	0

(2) 評価委員会の意見等

ア 特筆すべき点

- ・特になし。

イ 遅れている点

- ・特になし。

ウ その他の意見等

- ・特になし。

第4 業務運営の改善及び効率化

(1) 評価結果及びその判断理由

ア 評価結果

B (良) おおむね計画どおり

イ 判断理由

小項目別の評価を集計した結果、小項目数 26 項目に対し、「年度計画を上回って実施している (IV評価)」又は「年度計画を順調に実施している (III評価)」と評価したものが 9 割以上となったことから、B 評価 (おおむね計画どおり) とする。

[参考] 小項目別評価の集計結果 (No.66～91)

小項目数	評価結果			
	IV	III	II	I
26	1	23	2	0

(2) 評価委員会の意見等

ア 特筆すべき点

- ・特になし。

イ 遅れている点

【No. 83 : ハラスメントの根絶を目指した防止対策の徹底】

- ・教職員対象の人権研修であれば、外部講師等を学内に招聘してすべての教職員を対象に実施したほうがよいのではないか。

ウ その他の意見等

【No. 70 : 教職員対象の倫理研修等を通じたコンプライアンスの徹底】

- ・ハラスメント研修は、具体的にどのような形態・内容か。

【No. 72 : 本学として求める教職員像や教員組織の編成方針を策定する】

- ・「No.77 教員評価制度の検討」と関連させて検討する必要がある。

【No. 83 : ハラスメントの根絶を目指した防止対策の徹底】

- ・アンケート結果を、防止対策にどのように反映させているのか。

【No. 89 : ハラスメントの根絶を目指した防止対策の徹底】

- ・計画に目標出席率が掲げられているので、実績を記載すべき。

第5 財務内容の改善

(1) 評価結果及びその判断理由

ア 評価結果

A (優) 計画どおり

イ 判断理由

小項目別の評価を集計した結果、小項目数6項目に対し、その全てにおいて、「年度計画を順調に実施している(Ⅲ評価)」と評価したことから、A評価(計画どおり)とする。

[参考] 小項目別評価の集計結果 (No.92~97)

小項目数	評価結果			
	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ
6	0	6	0	0

(2) 評価委員会の意見等

ア 特筆すべき点

- ・特になし。

イ 遅れている点

- ・特になし。

ウ その他の意見等

【No. 97：寄附金制度の創設】

- ・私立大学と違い、国立・公立大学のOBは愛学精神が薄いように見受けられる。
このあたりの対応が必要と思われる。

第6 自己点検・評価及びその情報公開・提供

(1) 評価結果及びその判断理由

ア 評価結果

A (優) 計画どおり

イ 判断理由

小項目別の評価を集計した結果、小項目数7項目に対し、その全てにおいて、「年度計画を順調に実施している(Ⅲ評価)」と評価したことから、A評価(計画どおり)とする。

[参考] 小項目別評価の集計結果 (No.98~104)

小項目数	評価結果			
	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ
7	0	7	0	0

(2) 評価委員会の意見等

ア 特筆すべき点

- ・特になし。

イ 遅れている点

- ・特になし。

ウ その他の意見等

- ・特になし。

第7 その他業務運営

(1) 評価結果及びその判断理由

ア 評価結果

A (優) 計画どおり

イ 判断理由

小項目別の評価を集計した結果、小項目数8項目に対し、その全てにおいて、「年度計画を順調に実施している(Ⅲ評価)」と評価したことから、A評価(計画どおり)とする。

[参考] 小項目別評価の集計結果 (No.105~112)

小項目数	評価結果			
	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ
8	0	8	0	0

(2) 評価委員会の意見等

ア 特筆すべき点

- ・特になし。

イ 遅れている点

- ・特になし。

ウ その他の意見等

【NO. 110: 学生及び教職員を対象に各種避難訓練や救命講習を定期的実施】

- ・避難訓練は、最低、年1回は全学あげて実施すべきではないかと思う。

第3 平成25年度事業年度評価に係る項目別評価結果総括表

対 象 区 分		平成25年度計画										計	平均値
		項目数	評価別内訳				評価別の構成割合(%)						
			IV	III	II	I	IV	III	II	I			
(大項目)	報告No.												
(中項目)													
(小項目)													
第2 教育研究等の質の向上に関する目標		50	7	43	0	0	14%	86%	0%	0%	157	3.14	
1 教育に関する目標		20	4	16	0	0	20%	80%	0%	0%	64	3.20	
(1)教育内容、方法及び成果に関する目標	No. 1~8	8	0	8	0	0	0%	100%	0%	0%	24	3.00	
(2)教育支援体制に関する目標	No. 9~14	6	2	4	0	0	33%	67%	0%	0%	20	3.33	
(3)学生の確保に関する目標	No. 15~20	6	2	4	0	0	33%	67%	0%	0%	20	3.33	
2 研究に関する目標	No. 21~27	7	1	6	0	0	14%	86%	0%	0%	22	3.14	
3 学生支援に関する目標	No. 28~49	22	2	20	0	0	9%	91%	0%	0%	68	3.09	
4 大学改革に関する目標	No. 50	1	0	1	0	0	0%	100%	0%	0%	3	3.00	
第3 地域貢献、国際化に関する目標		15	2	12	1	0	13%	80%	7%	0%	46	3.07	
1 地域貢献に関する目標	No. 51~56	6	2	4	0	0	33%	67%	0%	0%	20	3.33	
2 国際化に関する目標	No. 57~65	9	0	8	1	0	0%	89%	11%	0%	26	2.89	
第4 業務運営の改善及び効率化に関する目標		26	1	23	2	0	4%	88%	8%	0%	77	2.96	
1 組織運営の改善に関する目標	No. 66~71	6	1	5	0	0	17%	83%	0%	0%	19	3.17	
2 人事の適正化に関する目標	No. 72~78	7	0	6	1	0	0%	86%	14%	0%	20	2.86	
3 広報活動の充実に関する目標	No. 79~82	4	0	3	1	0	0%	75%	25%	0%	11	2.75	
4 ハラスメント防止対策等に関する目標	No. 83~91	9	0	9	0	0	0%	100%	0%	0%	27	3.00	
第5 財務内容の改善に関する目標		6	0	6	0	0	0%	100%	0%	0%	18	3.00	
1 経営の効率化に関する目標	No. 92~95	4	0	4	0	0	0%	100%	0%	0%	12	3.00	
2 自己収入の増加に関する目標	No. 96~97	2	0	2	0	0	0%	100%	0%	0%	6	3.00	
第6 自己点検・評価及びその情報公開・提供に関する目標	No. 98~104	7	0	7	0	0	0%	100%	0%	0%	21	3.00	
第7 その他業務運営に関する重要目標		8	0	8	0	0	0%	100%	0%	0%	24	3.00	
1 施設設備の整備・活用等に関する目標	No. 105~108	4	0	4	0	0	0%	100%	0%	0%	12	3.00	
2 安全管理に関する目標	No. 109~112	4	0	4	0	0	0%	100%	0%	0%	12	3.00	
合 計		112	10	99	3	0	9%	88%	3%	0%	343	3.06	

平成25年度計画	
大項目別における評価	
評価IVIIIの割合	判定
100%	A

93%	B
------------	----------

92%	B
------------	----------

100%	A
-------------	----------

100%	A
-------------	----------

100%	A
-------------	----------

4 全体評価

(1) 総評

公立大は、「高い識見と国際的な視野を持つ人間性豊かな人材を育成するとともに、広く地域に開かれた大学」という建学の理念のもと、教育研究や地域貢献の充実に積極的に取り組んできたところである。

今年度は、6年間におよび第2期中期目標期間の初年度となる平成25年度の業務実績について、その内容を点検したところである。その結果、評価委員会としては、年度計画を十分に達成できなかった取組も一部に認められたが、全体的には、概ね計画を順調に実施できたものと評価している。

具体的には、第2期中期目標においては、6つの大項目が設定してあるが、そのうち、教育研究等の質の向上については、Ⅲ及びⅣ評価の合計の割合が100%を達成し、A（優）（計画どおり）の評価となった。

特に、平成25年度は、平成26年度にスタートする新カリキュラムに向けた様々な取り組みが順調に進められたことも評価している。

中項目ごとに見ると、教育に関するものでは、「教員相互の授業参観」において、参観者による感想や意見を記した授業参観シートの内容を集約し、今後の教員相互の授業改善に役立つ資料の作成を行い、授業改善や教員指導に役立てるという取組や、進路指導や就職支援として実施された「企業訪問バスツアー」において、旅行業界等を志望する学生自らが初めてツアーを企画した結果、企業活動や仕事内容、社会人の考え方など多くのことを学ぶことができ、95.4%という高い満足度を得たという取組など高く評価できる。

また、学生支援に関するものでは、本学ホームページの「教職支援室便り」など、教職関係の情報発信については他の公立大学に比べ先進的な取組となっていること、さらに、業務運営の改善及び効率化のうち「組織運営の改善」においては、大学の意思決定の構成要素の強化に努め、迅速かつ的確な意思決定を行う体制を整備することを目標としていたところ、学長・部局長・事務局長からなる「改革推進会議」を設置し、今後想定される様々な課題に対し、対応できる体制を整えたことも高く評価している。

一方で、「人事の適正化」の中では、本学として求める教員像を明確にすることを年度目標に据えていたが、他大学の事例収集はしたものの、明確化には到っていないという理由から、Ⅱ（年度計画を十分には実施できていない）と評価した。

教員像の明確化は、教員評価制度の確立と密接に関係すると考えられるので、早期の策定を求めたい。

また、広報活動の充実にしても、一層の取組を求めたい。

今後も、個性ある大学づくりに教職員が一体となって取り組み、地域に根ざし、地域に愛され、地域に開かれた大学として、一層の発展を期待する。

(2) 今後の課題

- ①本学として求める教職員像の明確化については、教員評価制度の導入との関連が深い
ため、両者を関連付けながらの検討が求められる。
- ②ハラスメントの根絶を目指した防止対策の徹底については、教職員対象の人権研修
であれば、外部講師等を学内に招聘して、全ての教職員を対象に実施されることが
求められる。
- ③寄附金の募集については、引き続き、リーフレットを市の関係機関での窓口への設
置、東京宮崎市人会への配布、及び大学ホームページに寄附金募集の掲載を行うな
ど、広く周知を図っていただきたい。
- ④各種災害等の有事に備えた避難訓練の実施については、学生及び教職員を対象とし
て定期的な実施を期待したい。